

日本交通の労・使は、「運賃ダンピング競争」をせず「品質とサービスで競争」し、「都内での『桜にN』5000台構想」に合意をし、2005年4月から9社が加盟して「日本交通グループ」がスタートしました。

2006年4月から、10社に所属する労働組合・親睦会・労働者代表が集まり意見を交換し、連絡協議会の立ち上げに向けて5回の話し合いを行いました。組織の目的は、品質とサービスでお客様に選ばれる日本交通グループを目指し、労働条件を低下させる原因となる低価格・大口割引・キックバック等をさせないことを基本に、労働者の立場で意見交換と情報を共有し、文化交流を通じて親睦を深め、賃金・労働条件の向上を目指す事が確認されました。

2006年11月11日に、加盟10社の代表32名が出席して発足集会を開き、団体を「日本交通グループ連絡協議会」にする事を確認しました。総会の議題では、規約、役員体制、会費問題が提案され、全員で承認しました。グループで働く仲間と共に、働きやすい労働環境を目指して協力していく事が確認されました。役員には田島議長（東洋交通労働委員長、石山事務局長（日交労書記長）、各社代表8名が副議長に就き、顧問に阿部日交労委員長が就任しました。

日本交通グループ連絡協議会が発足して7年間で経過し、加盟組織は14社に増えました。2010年4月には、川鍋・日本交通社長に「慶応病院の入構証」と「台数口の優先配車券」の販売提案を撤回するように、日交グループ連絡協議会として初めて申し入れを行いました。

2013年10月の代表者会議では、活動の強化を指し、組織体制の変更を行いました。議長には、福島進（東洋交通労働組合）、副議長には、大松啓治（ライオン交通労働組合）、菊池るみ（東洋交通労働組合）、後藤修美（全自交羽田交通労働組合）、大和田正樹（日交労）の4名が、事務局長には溝上泰央（日交労）が就任しました。議長、副議長、事務局長は、運動方針の実行と組織強化・拡大に責任を持つ事を約束しました。また、労働組合は組織を強化する事（政策闘争、賃金・労働条件の改善）、親睦会・共済会は労働組合的運動を強化する事。労働者代表は組織的行動への準備を行う事を約束しました。キャピタル、日生、陸王、蔦、美輝の労働者組織に「日交グループ連絡協議会」に加盟するように働きかける事も確認されました。

現在の加盟組織は13社になっています。

日本交通グループ連絡協議会

2014年6月14日(土)
日本交通(株)銀座営業所内会議室において、日本交通グループ連絡協議会、第3回幹事会が開催されました。会議冒頭に協議会発足当初から協議会の副議長、会計監査などをご活躍いただいた、春駒交通共済会の前会長、小林邦彦氏が5月16日に逝去された事が報告され協議会参加者全員が黙祷し、故・小林氏のご冥福を祈りました。会議では福島進議長（東洋労働書記長）より日本交通グループで働く乗務員の「労働者負担の撤廃」や「空転補償」など協議会を通じて統一要求を経営側に申し入れ、改善していきたいと挨拶がありました。続いて伊藤実顧問（日交労委員長）より挨拶があり、改正特措法が施行されたが、公定幅運賃を下回る事業者が大阪などで提訴し仮処分を受け事業を継続している。これでは公定幅運賃が骨抜きになってしま可能性があるので、そうならないように運動を強化しなければならぬと挨拶されました。会議では春駒の経過報告や忘れ物の取扱いなどが話し合われました。また、三和交通労働組合とすでに協議会メンバーの三和交通全労組が合流し、新たに三和交通労働組合として協議会に新規加盟したことも報告されました。

日本交通グループ連絡協議会 役職一覧 (2014/7現在)

役職名	氏名	組織名・役職名
議長	福島 進	東洋交通労組・書記長
副議長	大松 啓治	ライオン交通労組・執行委員長
	菊池 るみ	東洋交通労組・執行委員長
	後藤 修美	全自交羽田交通労組・副執行委員長
	大和田 正樹	日交労・副執行委員長
会計監査	杉本 政晴	ワイエム交通 青空会・顧問
	品川 公夫	春駒交通・共済会会長
事務局長・会計	溝上 泰央	日交労・常任中央執行委員
顧問	伊藤 実	日交労・執行委員長



東洋交通労働組合 福島書記長(右)が議長を務めています。

日交労赤羽支部との合同宣伝行動



2014年6月27日(金)霞ヶ関にて日交労赤羽支部と合同で宣伝行動を行いました。



文体活動

2014年 日交労ゴルフ大会

【日時】2014年6月5日(木)
【場所】東隅ゴルフクラブ (千葉)

薄曇りのコンディションの下、日交労ゴルフ大会が開催されました。大会には日本交通グループ各労組の組合員や職員など170名の参加者が名門と名高いコースに挑みました。

大会は、個人戦は新ペリア方式のハンディキャップ戦、団体戦はスクラッチ方式による上位4名のトーナメント方式で競いました。団体戦は千住Aチーム、個人戦は松尾直樹氏(三鷹)が優勝し、単組ゴルフ部の6名は団体・個人共に残念ながら入賞はなりませんでしたが、大会を通じ、同じ日本交通グループで働く仲間同士、親睦を深められる大会となりました。

2014年 全自交関東地方協議会ゴルフコンペ

【日時】2014年6月23日(火)
【場所】京カントリークラブ (千葉)

全国自動車交通労働組合連合会(全自交)の関東地域の組織が参加するゴルフコンペが開催され単組ゴルフ部より4名が参加しました。大会には全自交関東地方協議会、日本交通グループ協議会に加盟している各労組の役員や組合員、93名が参加しました。

大会は、新ペリア方式の個人戦で競いました。時折、南国のスコールのような雨に見舞われましたが、雨の時間は少なく、ゴルフ競技を通じて関東の仲間達と親睦を深める事が出来ました。大会は同じ日本交通グループのライオン労組、小出 明彦氏が優勝し、単組ゴルフ部の渡部 正博氏が見事に第3位に入賞しました。